

観光モニターツアー

文化と歴史、グルメを堪能

西尾の魅力を満載した観光モニターツアーが12月21日に行われ、参加者約30人が市内各所を巡りました。「おもてなし大学」で西尾の観光資源などを学んだ受講生が考案した3コースのうちの1つで、旅行業務免許を取得した市観光協会が実施したものです。参加者は妙善寺でかぼちゃサミットを楽しんだ後、受講生の案内で国宝の金蓮寺弥陀堂を拝観。華蔵寺や実相寺、歴史公園を見学し、海鮮料理や抹茶も味わうなど、思う存分に西尾の魅力を堪能しました。



太鼓の音に合わせて腰を振る

五穀豊穡を願う天下の奇祭

てんてこ祭が1月3日、熱池八幡社で行われました。この祭りは、天皇が即位して初めて実った米を神々に供える祭り「大嘗祭」に由来するといわれています。9世紀の清和天皇の時、熱池八幡社一帯が神田に選ばれ、献上米が作られました。その後、本来のお田植え神事が、豊年祭として毎年行われるようになったそうです。多くの見物客が訪れる中、赤装束の厄男6人のうち、前の3人は「てんてこてん」という小締め太鼓の音に合わせて大根を付けた腰を振り、後ろの3人は竹ぼうきを持って集落を練り歩きました。



消防出初式

新春の恒例行事で市の消防力を披露



西尾市消防出初式が1月7日、文化会館南側駐車場で行われました。約2,000人の観客が見守る中、市消防職員や消防団員、はしご車やポンプ車などが集結し、日頃の訓練の成果を存分に発揮しました。昨年10月に結成された機能別消防団も、可搬消防ポンプでの放水訓練を披露。消防職員による三連はしご実技訓練では、はしごの上で「三つ大の字」などさまざまな技が演じられ、技が決まるごとに会場から大きな歓声が起こっていました。

平成29年成人式

感謝の気持ちを胸に門出を祝う



平成29年成人式が1月8日、総合体育館で開催され、華やかな振り袖やスーツ姿の新成人が集まり、二十歳の門出を祝いました。今年の新成人は、男性954人、女性884人の合計1,838人。「夢～ありがとう～」をテーマに、20年間で出会った人々に感謝し、新たなスタートを切ってもらおうと新成人24人でつくる実行委員会が式典を企画・運営。アトラクションの市内の名所を題材にしたビンゴゲームでは、景品が当たるたびに会場は盛り上がりました。参加者は恩師や級友と久しぶりに再会し、思い出話を花を咲かせていました。



花育教室でフラワーアレンジメント

地 元産のカーネーションに親しむ

カーネーションを用いた花育教室が12月13日、一色東部小学校で行われました。花への関心を高めてもらおうと、愛知県の「花いっぱい県民運動」の一環として実施されたもので、参加した3年生の児童は、花育ティーチャーのアドバイスを受けながら、オアシスに色とりどりの地元産カーネーションを挿し、フラワーアレンジメントを体験。楽しいひと時を過ごしました。完成したアレンジフラワーは後日、児童から保護者へプレゼントされました。



そば打ち教室

気分はそば打ち名人!



そば打ち教室が12月14日、西尾市保健センターで行われました。参加者は講師から説明を受けた後、それぞれの班に分かれて作業を始めました。多くの方が悪戦苦闘したのは、そば粉とつなぎ粉で作ったそば玉を均一に薄く延ばす作業。講師の手も借りながら、真剣に作業を進めました。出来上がったそばは、その場でゆでて参加者全員で堪能。「自分で作ると、いつもよりもおいしい。年末に向けて自宅でも作りたい」という声も聞こえました。

吉良義央公毎歳忌で児童が肖像画を披露

吉 良さんへの感謝の気持ちを絵に

12月14日に華蔵寺で行われた第314回吉良義央公毎歳忌に合わせ、横須賀小学校の4年生が“吉良さん”の肖像画を披露しました。代表の児童3人が「郷土・吉良のために力を尽くしてくれた吉良さんへの感謝の気持ちを絵にしました」「吉良さんのやさしい顔を多くの人に知ってもらうためにこの絵を描きました」「この絵を見て、吉良さんがいい人ということ、皆さんにも知ってほしいです」と、自ら考えて制作した肖像画についての思いを述べました。



にしお駅伝フェスティバル2016

師 走に234チームの選手が快走



にしお駅伝フェスティバル2016が12月18日、愛知こどもの国で行われ、7つの部門に234チームが参加しました。Bコース(5区10.09km)のスタートでは、中学生女子と小学生の選手が号砲と同時に勢よく飛び出していき、シニアとフレンドリーの選手が笑顔で後に続けました。Aコース(5区17.90km)では、高校一般男子、高校一般女子、中学生男子の各選手が標高11mから100mまでの高低差をものともせず、健脚を競っていました。